

平成 27 年度 北海道・東北ブロック相談支援専門員研修

～山形県相談支援専門員協会設立記念研修～

【開催趣旨】

障害者自立支援法から障害者総合支援法へと制度が替わる中、障がい児者に係る相談支援体制の充実強化が図られてきました。

北海道、東北地区における障がい児者相談支援の質の向上と体制強化を目的に、平成 22 年北海道で第 1 回を開催したのを皮切りに、青森県、宮城県、福島県においてそれぞれの県の相談支援専門員協会等の主催により、本人中心の相談支援を基本理念に置きながらいかにスキルを上げていくかなどを学び合う相談支援専門員研修会を実施してきました。

今年度はいよいよ山形県で北海道・東北ブロック研修を開催いたします。今後さらに求められる相談支援機能を充実させるために福祉、教育、保健等の機関の垣根を超えた理解を一層深められるような機会にしたいと考えております。

障がいがあるなしにかかわらず、自分の想いを大切に生きていくとはどういうことなのかを一緒に見直してみませんか？多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

◆「山形県相談支援専門員協会」設立にむけて

全国的に障がい児者の相談支援専門員の組織化が進み、「相談支援における資質の向上」と「支援者の支援」を主な目的とした任意団体の設立が盛んに行われておりますが、山形県としては未だ設置に至っていない状況があります。「本人中心の相談支援」「支援者の支援」が重要となる時代をむかえるにあたって、わが県においても山形県相談支援専門員協会の設置を目指し準備を進めてまいりました。この研修を足掛かりに、皆さまの積極的な参加をいただきながら、よりよい支援につながるような活動にしたいと考えております。

山形県相談支援専門員協会設立準備委員会

代 表 鈴木 ひとみ

(サポートセンターおきたま所長)

【開催要項】

- *主 催 山形県相談支援専門員協会設立準備委員会
- *後 援 山形県・天童市・日本相談支援専門員協会・山形県社会福祉士会・山形県精神保健福祉士協会・山形県社会福祉協議会・山形県知的障害者福祉協会
- *日 時 平成27年10月16日(金)～10月17日(土)
- *場 所 天童ホテル
〒994-0025 山形県天童市鎌田本町2丁目1-3
TEL：023-654-5511 FAX：023-654-5517
- *対 象 相談支援専門員、障がい福祉サービス事業所、教育機関、行政等
(定員150名)
- *プログラム 別紙参照
- *参加費 研修・交流会・宿泊 16,000円
研修・交流会参加 12,400円
研修のみ参加 4,000円
- *申し込み 名鉄観光サービス(株)山形営業所 山形市十日町1-3-29 TEL 023-664-0909
- *期 限 平成27年9月15日(木)

プログラム

【10月16日（金）】

12時～ 受付

13時～ 開会

基調講演 「今、相談支援専門員に求められるもの」

講師 社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会
障害者総合相談支援センター にしのみや
センター長 玉木 幸則 氏

15時～ 行政説明 「障害福祉施策の動向とこれから」

講師 厚生労働省 社会・援護局
障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室
相談支援専門官 鈴木 智敦 氏

17時 1日目終了

18時～ 交流会

【10月17日（土）】

9時～ 分科会

≪第1分科会≫ 「どうやって作ってる？あなたのサービス等利用計画」

～今さら聞けない！この文言で大丈夫？～

（趣旨）平成24年制度改正に伴い、「サービス等利用計画」が義務付けられ3年間の経過措置期間、昼夜問わず相談支援事業所は奔走してきました。「サービス等利用計画」は本人の意思決定がなされた本人中心の計画でなければなりません。また支給決定の根拠であり、誰もが納得できる計画が求められます。少ない人員のなかで振り返れる間もなく作成してきた従事者の方、事例を通して計画作成の視点をともに学びましょう。

話題提供	サポートセンターゆあーず	相談支援専門員	齋藤 卓也氏
	サポートセンターあずさ	相談支援専門員	鏡 広英氏
進行	相談支援事業所アイアイ	相談支援専門員	吉田 一斉
助言者	社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会 障害者総合相談支援センターにしのみや		玉木 幸則 氏

≪第2分科会≫ 「教えて！触法障がい者の支援」

（趣旨）平成24年4月、全県に地域生活定着支援センターが設置され、罪を犯した障がいのある人の地域生活を支える取り組みが広がっています。なかでも、相談支援事業所は、本人を地域で支える関係機関の核となる機能と、本人の意思決定や関係性を支援する大切な役割が期待されています。

この分科会では、相談支援事業所と地域生活定着支援センターの連携の在り方を、実際の支援を通して考えていきます。

話題提供	気仙沼市障害者生活支援センター「かなえ」所長	青野 繁清氏
	宮城県地域生活定着支援センター ソーシャルワーカー	高橋恵理香氏
進行	山形県地域生活定着支援センター 所長	二関 郁子

《第3分科会》 「これからの相談支援事業所の経営を考える ～私たちの挑戦と未来～」

(趣旨) 相談支援事業に求められる多くの役割の中で、大切なものが二つあると言われています。第一に、障がい者の権利を擁護しながら「本人中心のケアマネジメント」を行うこと。第二に、地域の課題をニーズとして「新たな社会資源の開発」やネットワークづくり等を担い、地域全体の福祉向上を図ることです。この分科会では、上記をキーワードに相談支援の可能性に挑戦した2名の実践者から3年間の取り組みについて語ってもらいます。そして、これからの相談支援事業というものを皆さんとともに考えたいと思います。

話題提供

独立型相談支援事業所の起業 ～中立性のある相談支援を行いたい～

Leap ウェルフェアサポート(株) 指定相談支援事業所リープ 管理者 鈴木 有美

相談支援事業所を核とした新たな事業展開 ～アウトリーチ支援に活路を見出す～

NPO やすらぎの会 障がい者地域生活支援センター翔 管理者 佐原 和紀

進 行 鶴岡市障害者相談支援センター 所長 佐藤 幸美

助 言 者 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室
相談支援専門官 鈴木 智敦 氏

11時～ 全体会

12時 全日程終了